

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：沢田哲夫 幹事：米沢修一

情報委員長：春田義正

1986・1月9日 第306号

**新年のごあいさつ**

会長 沢田 哲夫



会員のみなさま、あけましておめでとうございます。昨年中は、不なれな私共執行部に対し、深甚なる御声援、御協力を賜わりまして、ありがたく厚く御礼を申し上げます。

また、今年も昨年同様よろしく御引廻しの程、衷心より御願ひ申し上げます。

昨年七月就任いたしましたあと、いろいろな行事が相次ぎまして、かなり多忙な半年を過しました。韓国南光州RCとの姉妹結縁の更新の調印式を行うため、韓国光州市を訪問したり、金沢の武道館で少年武道大会を挙

行したり、片山津で洛北RCとゴルフ大会をし、また、懇親会をし、さらに地場産業センターで、石川第1、第2分区のI.G.F.を行うに際し、そのホストクラブとして、その運営実行を担当いたしました。最後に年忘れの家族同伴例会も盛大に挙行することができました。このように諸般の行事がとどこおりなく遂行されたのは、ひとえに会員のみなさまの絶大なる御支援、御協力のたまものでありまして衷心より厚く御礼を申し上げます。

最後に、1985年～86年度のRI会長カドマン氏の標語「あなたが鍵である」を常に念頭に置き、各委員会がそれぞれの担当部門において、創意工夫をこらし、明日への新しい道をきりひらいて行くよう、会員のみなさまの御努力を期待し、同時に自分もまた、及ばずながら魯鈍に鞭打って、課せられた責任を果して行くことを誓い、このごあいさつを終わりたいと思います。

もういちど重ねて申し上げます。会員のみなさま、今年もよろしくお願ひいたします。



## ロータリー財団について

地区ロータリー財団委員長

徳田 保久君



ロータリー財団は、ロータリーが発足して17年ばかり経過した頃その構想が発表されました。当時の米国経済は不況からの脱出、立ち直りの時期であった頃であり、非常な困難な状況の中での出発であったろうと思われませんが、日本的に言えば、善隣活動、慈善活動の色彩の濃いものでありました。然し乍ら前述の通りの状況でありその精神は理解されながらも、実際の寄附行為そのものは不活発の状態が約10年間続いた訳です。その後、ポール・ハリスの死去に伴い、彼の偉大さに報いるという形で、R.Iのもとへ善意が集って参りました。その結果、この年、18名の大学院生を奨学生とすることになった訳です。これが財団としての最初のアクションとなり、その

後も、その時々々の世情にマッチする様に変革をくり返して来た訳です。従って財団の基本運営は、奨学生ではありますが、3Hプログラム、G.S.Eプログラム、特別補助金プログラム等、プラスアルファの部分で大きな貢献を現在はいたしております。

奨学生については、これまで1万5千数百名の多数に登り、これは他のどの奨学生制度よりも多い人数であります。又、財団の奨学生の運営方針は国際間の理解と友好を深めるということが第一義であり、次に優秀な学生とすることが、特徴的であります。つまりロータリーの世界理解と平和と友好という考え方によるものに他なりません。奨学生には、大学、大学院、職業研修、ジャーナリズム、身心障害者の学校の指導者と5つのジャンルがあります。当地区からはこれまで59名の奨学生を世界各国へ出しております。

G.S.E（グループ研究交換補助金）は、ロータリアンでない。青年実業家で地域の指導的立場にある方々を約1ヶ月間、海外の地区のそれらの方々と交換し、勉強していただくというものです。

3H（健康、飢餓追放、人間性の尊重）プログラムは、R.I創立75周年の時の寄附を財団が管理しており、それを各国へ援助しています。

特別補助金ですが、ある地区に於て有益な大規模事業を行おうとする時、財団が補助をする制度であります。その他昨年度より大学教授が、低開発国に於て教鞭をとっていただく時に財団より補助金を、と云う制度も発足しております。そんな訳で、昨年度の決算では総額11,584,048ドル財団より各種プログラムに拠出されました。

さて、当地区の寄附率であります。近年に於ては、全国的に見て低位置に推移いたしております。ここで全会員が90ドルの寄附をしていただければ、全国ランクの中間に位置することが出来ます。何卒ロータリー精神でもって、ロータリー財団をご理解いただき、ご協力いただけます様、お願いいたします。

—金沢北RC例会講話より—（文責 安宅雅夫）

## 年忘れ家族会

— 12月17日 金沢市文化ホール —

師走のあわただしい12月17日(火)は大雪の中、会員及び家族、交換学生 135名が参加して、年忘れ家族会が金沢市文化ホールにてなごやかに行われた。毎年恒例とはいえ、親睦委員会最大の行事の一つでもあり、委員会全員のアイディアを出し合い、ゲーム・お楽しみコーナー等が行われ、芸術家の会員の皆様による会員作品展も当クラブならではのイベントとして本年も人気を集めた。

参加された会員家族の皆様、当日は本当に足元の悪い中、ありがとうございました。（広沢記）



芸術家会員の作品展



本江副会長のサンタクロース



プレゼント交換



熱唱 浅田豊久会員

## 次年度理事・役員名簿 《1986.7～1987.6》

12月12日クラブ年次総会にて選任。

会 長 (理事)	本 江 他美夫
副 会 長 (理事 クラブ奉仕)	俵 外代吉
副 会 長 (理事 青少年)	木 島 光 仁
幹 事	長谷川 塑 人
副 幹 事	本 岡 三千郎
会 計 (直前幹事)	米 沢 修 一
会場監督	中 谷 栄 治
直前会長	沢 田 哲 夫

社会奉仕 (理事)	坂 下 直 人
国際奉仕 (理事)	村 田 完 二
職業奉仕 (理事)	大 沢 久 広
例 会 (理事)	中 谷 栄 治
拡 大 (理事)	増 江 泰 成
企 画 (理事)	佃 一 成
情 報 (理事)	春 田 義 正
親 睦 (理事)	関 稔
修 練 (理事)	越 野 民 男
友 好 (理事)	滝 憲 三
地域開発 (理事)	岡 田 林太郎
理 事	柴 田 三 郎

